

少年野球教室開催

本校野球部は、「考える、そしてアウトフットする」ことを重点目標として、シーズンオフから寿都町でのフィールドワークや坊主頭に関するミーティングなど様々な取り組みをしてきました。その成果が少しずつ現れ、野球の練習への取り組み方や練習の内容、プレーの質などこれまで以上に洗練されてきました。

また今回もその一環として、少年野球チームの双葉ツインスターズの選手に対して 2 年生部員が野球教室を行いました。

17 名の小学生に対し、いかに楽しんでもらえるか、いかに上手くなってもらえるかを念頭に企画・準備・運営とすべて選手自身で考え実施しました。尻尾といなど遊びを取り入れたウォーミングアップに始まり、キャッチボール、ストラックアウト、的当てティーバッティング、ノック、最後にリアル野球盤を行いました。すべての企画に楽しさだけでなく技術指導も混ざり、小学生も小学生の保護者の方々にも大変喜んでいただきました。小学生が今後も長く野球を続けてくれる機会になっていけば幸いです。またこのような機会があれば是非やりたいと思います。

※写真は後日フォトギャラリーにアップ予定です。

以下、野球部員の声です。

あの 3 時間半の間にいくつもの発見があり、特に、小学生だから 始めたばかりだからなどに囚われないことが大切と気づけたことが私にとってとても大きな学びになりました。今後は、〇〇だからと自分の狭い視野でものを見るのではなく、人とのコミュニケーションなどを通してもっと多角的に、様々な角度からものを見れるようにしていきたいと思います。そのために、ただ人に聞くだけでなく、現段階で自分が見えてることを相手に伝えてみようと思います。

相手が小学生ということで 1 番大切にすることは、小学生の視線に合わせるということです。理由はこの野球教室で僕達 2 年生が目標としたことは小学生に楽しんでもらうということだったので小学生が楽しめるような環境をつくるためです。小学生の視線に合わせることで小学生と高校生という年齢の差から生まれる恐怖感が少しでもなくなり小学生がのびのびとプレーすることができ、目標とした楽しめる野球教室に繋がると思ったからです。またウォーミングアップを一緒にやることによって距離が縮まり、その後のスローイングやバッティング、リアル野球盤に繋がられ野球教室をスムーズかつ楽しく出来たと思います。

自分は、小学生たちと目線を合わせることを大切にしました。体格差もあり、上から目線で高圧的な態度をとってしまうと小学生が話しにくい雰囲気になってしまうと思ったからです。小学生も自分たち高校生も対等な立場でみんなが楽しむことができたらいいなと思い取り組みました。

一緒に野球をするのが、小学生と聞いて、自分が小学生の頃どうやって野球を楽しんでいたのか、何が好きだったのか、監督コーチの教え方はどうだったのかを思い出すことと、どう接すれば怖がらないか、分かりやすいかを考えて、小学生が約 4 時間楽しめる環境にすることを大事に取り組みもうと思った。

4 時間もあると飽きてしまうことがあると思い、どうすれば飽きずにプレーできるか、また怪我せずに最後までやりきれるか、ということも考えて取り組みもうと思った。

今回の野球教室を通して、人を楽しませることや人に教えるという経験をする事が出来て、自分自身とても勉強になった 1 日でした。これからもチーム内で選手同士で教え合うということが多くあると思います。そのとき、今回学んだ人への教え方を踏まえ、どうすれば理解してもらえるかを考えながら説明したいと思います。

自分が頭で考えていることを小学生に分かりやすく言葉にするのが難しかった。1 回だけ言っても伝わらない時はわかって貰えるまで何回も伝える。マイナスことだけを言うのではなくポジティブなことを言いながらアドバイスするようにした。

小学生はいつなるとき変化するのかわからないので、常に周りを見て行動することが活かせると思います。

ピッチングでもバッターとピッチャーの 1 対 1 の勝負ではなく、バックを使ってプレーをすることを心がけます。

今回の野球教室では小学生に野球を今までよりもっと好きになってほしいという考えから、小学生に楽しんでもらうことを 1 番大切にしました。自分達は小学生目線でどのようなものが楽しく野球の練習をできるのか試行錯誤して企画しました。小学生に自分達の考えを伝えるにあたって、小学生に理解できる言葉を使ったり、なるべく近い距離感を保った接し方などを工夫しました。

常に視野を広くし周りを見て、自分は今何をするのが最善かを考え、行動や言動にアウトフットしていきたいと思いました。また、今回 2 年生だけでこのようなことをして更に団結力が増し、子供たちからの刺激も受けて練習への活力も湧きました。野球教室

で感じたことを忘れずに練習や普段の学校生活に活かしていきたいです。

1番大事にしようと思ったのは楽しませるということです。楽しかったことは思い出にも記憶にも残りやすいということだったので、楽しませることを1番に置きました。

もう1つ大切にしようと思ったのは、自分も楽しむということです。自分たちが楽しんでいないと、子供たちも楽しくないだろうなと思い、自分も楽しむことを大切にしようと思いました。

当日は楽しむこともできましたし、楽しませることもできたと思うので、いい経験になりました。

今回の経験を通して人にうまく伝えることの難しさというのを感じたので今後の自分のなりたい職業にもそういうのは繋がっていると思うのでそこをしっかりやっていきたいなと思います。

人に何かを教えるということとはとても大変だということを感じました。それは、体力的なものもありましたが一番は相手が何を考えていてどう感じているのかということを中心に気にしながらやっていかなければならないことが大変でした。しかし、逆に考えれば常に周りを見て相手を気遣うことができれば野球や日常生活でも自分にとっても相手にとってもとてもやりやすいものになるのではないかなと感じました。

今回、言葉だけでは相手に伝わりづらいことがわかったので自分が発表する時などには動いたり、グラフを使ったりして相手に伝わりやすいようにしていきたい。

また、誰かに教えるというのはその動作や事柄を自分で深く理解するのに一番有効的なので、教える相手がいる時、いない時のどちらの場合でも誰かに伝えることを意識しながら噛み砕いて深く理解して色々なことをやっていきたい。

野球の重要なポイントを人に伝えるのが思っていたよりも難しかった。教えることで、自分にとっても大事なポイントの再確認にもなった。

普段私たちは同じ年代で野球をすることが多いのですが、今回は小学生と野球ということだったので、普段よりも言葉遣いに気をつけることだったり、どうすればちゃんと伝わるのかを意識して取り組みました。これらのことを意識することで小学生は楽しく野球ができると考えました。

今回小学生に野球を教えるという自分は初めての経験でしたが企画を考える面や野球を教える面、小学生のみんなからも色々なことを学ぶことが出来ました。この貴重な経験を無駄にはせずに今後の学校生活や日常生活、野球のプレーにも反映していきたいです。特に常に周りを見て臨機応変に対応するところなど私生活やプレーにおいてとても大切な事なので上手く活用できるようこれから頑張っていきたいです。

2022/4/27